

わたしたちの 働きかた 2019

働き方改革通信
平成31年4月25日

発行：長野県教育委員会
(義務教育課)

本年度も様々な取組を紹介していきます。

学校における働き方改革は、学校で働くわたしたちの生き方までも考え直す機会です。昨年は、様々な取組についてご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。本年度も県教委、市町村教委、PTA、学校の様々な取組などをお知らせしてまいりたいと思います。

新年度のスタートにあたり、昨年度、紹介しました取組の中で、「すぐに使えそう！」「こんな工夫をすると便利！」な取組をあらためて紹介します。

学校事務室の風景

シンプル、見える化、UD化

4月は校内掲示や教室掲示の準備等で、事務室にある文房具等をお借りすることも多いですね。

右の写真は、上小地方の中学校の事務室の写真です。引き出しの中に何が入っているか、文字で「読む」のではなく、絵で「見る」ことによって見つけやすいように表示された引き出しは、まさにユニバーサル・デザイン（UD）でシンプル。

使うみなさんの業務改善にひと役かっています。



定位置にいつもある

分かりやすく工夫された理科室の収納



左の写真は、下伊那の小学校の理科室の収納です。この小学校では、理科専科の先生がいらっしゃらないので、学級担任の先生方が理科の授業も担当しています。実験器具や観察の道具を短い時間で準備しやすいように、それぞれの器具が「定位置」にきちんと整理されています。また、「1つの器具につき1つのカゴ」が整然と並び、棚には、「温度計」「ビーカー」のように、「統一感のある大きな表示」がされています。必要な物が大きく見やすい表示で「定位置」に整理されていることで、探す時間が縮減され、先生方の働きやすさを生み出しています。

本年度もおたよりでは、県教委、市町村教委、PTA、学校の取組などをお知らせしてまいりたいと思います。「うちの町、学校では、こんな取組を始めたよ」「こういう職場になるといいな」といった情報を、ぜひお寄せください。

⇒ gimukyo@pref.nagano.lg.jp (カイカク係あて受付中)